

# 安心の暮らしと市民自治を育む

## 長野市の未来、市民の幸せを考え 行動します。働きます。



### 布目ゆきお市議 4年間を振り返って…

#### 健康第一、 前立腺がん検診を実現

男性特有のガンで急増している前立腺がんの予防に向け、前立腺がんの血液検査（PSA検査）が市民健康診査に加わりました。50歳から74歳までの男性が対象、2000円の自己負担が必要となります。布目市議の提案が実ったもので、生活習慣病の予防対策が前進することになりました。

#### 市民の足を守る、 公共交通網の整備を

合併で面積が1.8倍となった新長野市。山間地を含め、市民が自由に移動できる公共交通網の整備は重要な課題の一つ。公共交通機関で移動できる市民の足を確保することは、高齢社会にあってより不可欠となっています。布目市議は、初当選以来、バスを中心とした公共交通網の整備を取り上げてきました。とりわけ、市がまとめた「バス路線網再編基本計画」を「絵に描いた餅」にしないよう、実効

性のある計画として年次計画を立て具体化することを求めてきました。ライフワークの一つです。

#### 成人学校の受講料値上げ、 修正案可決に道を開く

「寝耳に水」で提案された成人学校受講料の大幅な値上げ案。「年金生活ではもう成人学校に行けない」との切実な声に応え、受講生有志の皆さんと一緒に教育長に陳情するとともに、本会議で値上げの大幅な見直しを求めました。結果、19年ぶりに修正案が可決されました。値上げ幅そのものの修正は実現できませんでしたが、経過期間を3年から5年に延長することになりました。今後も安易な受益者負担の見直しを厳しくチェックしていきます。

#### 安全でおいしい水を！

犀川浄水場の運転管理業務民間委託の提案に対し、「コストが優先され、安全が二の次になる」と警鐘。命の支えとなる「水」の問題だけに、安全性は譲れません。既にこの4月から民間委託されていますが、安全が後回しにならないようチェックしていきます。

#### 安心を任せられる 消費者行政を

消費生活相談はH16年度の6,575件をピークに減少傾向にあるとはいえ、訪問販売による被害や高齢者や障害者を狙った被害、ヤミ金被害が増加し、手を変え品を変え、手口はより巧妙、複雑になっています。消費生活センターの相談態勢の拡充を求めるとともに、「消費者基本法」に基づく市の条例制定を働きかけてきました。条例制定はこれから、引き続き取り組みます。

#### 格差是正に向け、 市独自に暮らしの命綱を

格差の拡大は深刻になる一方、国の政治によるところが大きいのですが、医療や介護、障害者の自立支援で、市独自の負担軽減策を求めてきました。市は「独自の軽減策は自治体間格差を広げる」としガードが堅いのですが、身近な市行政が「暮らしの命綱」となります。市独自に暮らしのセーフティネットを広げるよう、引き続き取り組みます。

#### 子どもに安全な居場所を

学校の空き教室等を利用した「放課後子どもプラン」づくりが進められています。とはいえ、空き教室はままならない現実も…。さらに、児童センター等の利用を有料にする検討が始まっている今日、児童館・児童センターの拡充を第一に、放課後、子どもたちの安全で安心な居場所づくりのために力を入れます。

#### 地球温暖化を防げ！ 「カーフリーデー」を提案

地球温暖化防止に向けた国際的な取り決め「京都議定書」の採択から10年目の今年、国際的約束を自治体から守っていくための新しい取り組みとして「カーフリーデー（車の休日）」を提案しました。フランスの地方都市が発祥地で、欧州や北米に広がっている国際的なイベントで、毎年9月22日に取られます。市長も「目的・趣旨には大いに賛同」として「関係機関と協議したい」と前向き。車社会が当たり前となっている今日、「車の休日」は確かに不便ですが、かけがえのない地球環境を守るために一人ひとりが行動したいものです。



#### 住民自治を育む 都市内分権へ

安茂里でも住民自治協議会がスタートしました。行政の肩代わりではない、新しい住民自治の仕組みとなるよう、住民参加によるまちづくりが前進するよう、議員の立場で応援していきたいと思ひます。

#### 長野市を住みよく安全に 環境整備に努力

通学路の安全や道路・水路の改修、災害対策、環境保全など、安全で安心な地域をめざし、市民の皆さんの要望の実現に努力してきました。これからも長野市民の幸せを第一に、安心で安全、快適な暮らしを実現するために働く決意です。